

# ◆特集◆

## 車を卒業して

## らんらん号に乗る選択

高齢ドライバーによる交通事故への社会的関心の高まりや、平成29年3月の道路交通法改正で75歳以上のドライバーの運転に関する内容が大幅に変更され、近年、運転免許を自主返納する方が増えています。



△見上 トシ子さん  
(目名町・77歳)

事故を起こした時を考えると、自分だけでなく相手や周りに迷惑がかかることを考え、運転することをやめました。社会福祉協議会の買い物サービスやらんらん号があるので、不自由なく、大変便利です。

薬を飲むようになって、万が一の事故のことを考え、運転をやめました。病院や温泉にらんらん号を利用しており、車がなくても全然不自由と感じませんね。



△栗木 ケフ子さん  
(宇湯里・87歳)

昨年の9月に免許を返納しました。週3回のらんらん号の運行は時間が正確で、大変助かっています。なにより運転手さんみんなが親切です。バスがなかったら、まだまだ車に乗っていたかもしれないですね。



△中里 義友さん  
(宇立川・83歳)

車がないと不便と思っていましたが、いずれ運転をやめないといけない時が来ると思い、免許の更新をやめることにしました。町民センターまでの距離でもらんらん号があるので大変助ります。



△橋爪 京子さん  
(宇相生・84歳)

まだまだ同年代の方には負けないぐらい歩けるので、足が丈夫なうちに車の運転をやめようと考え、免許を更新したら、また乗りたくなるので、81歳になった時に、きっぱりと運転をやめました。らんらん号があるので、町内への移動が便利で大変助かっています。今では全く車に乗りたいと思わないですね。



△今川 勉さん夫妻  
(蘭越町・88歳)

- ・家族の負担が増す
  - ・外へ出る意欲がなくなり引きこもりがちになる
  - ・運転しないことで記憶力や判断力が低下し、認知機能の低下が早まることがある
  - ・といったデメリットもあります。
- 特に、公共交通機関が少なく、「車が必要品」である地域は、自分の都合に合わせてちよっと外出したい時に支障が出ます。

### ■免許返納のメリット・デメリット

免許を返納することで、危険な運転による事故を起こす可能性は回避することが出来ます。しかし一方で、

・病院や買い物など生活に必要な移動手段がなくなる(少なくなる)

・家族の負担が増す

・外へ出る意欲がなくなり引きこもりがちになる

・運転しないことで記憶力や判断力が低下し、認知機能の低下が早まることがある

・といったデメリットもあります。

特に、公共交通機関が少なく、「車が必要品」である地域は、自分の都合に合わせてちよっと外出したい時に支障が出ます。

## ■安全な運転に不安があるときに

●安全な運転に不安を感じるのには、本人はもちろん、その家族のほうも先に感じることもあります。「事故を起こすと家族に大きな負担がかかるので運転をやめてほしい」ということもあります。

●らんらん号は1日3方面2往復運行しています。町民の皆様の通院、買い物が便利になるように、町内を編み目のように運行しています。自家用車でこれまで好きな時に好きなところに行くことができたが、車を卒業すると不便にはなりますが、高齢者の皆様には安全で経済的なららんらん号の利用をおすすめします。

## らんらん号を利用しやすくする 町の取組

- ① 5方面各週2回を、各週3回に増便
  - ② 運転手の親切丁寧な対応
  - ③ 利用者の利便性を図るための検討
- ※半年に1度、利用者の利便性を図るため、バス停の見直しをしています。



△久保田 運転技術員

ぜひ、お気軽に  
「らんらん号」を  
ご利用ください。  
お待ちしております！

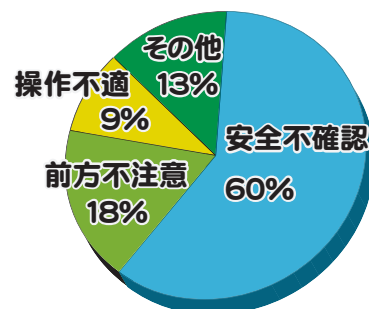
## ～運転中の高齢者の皆さんへ～

### ■車を運転中、どんな理由で事故を起こしてしまうの？

#### ～交通事故原因の1位は安全不確認～

右のグラフは、自動車を運転中の65歳以上の高齢者による交通事故を原因別に表したグラフです。

1位の安全不確認とは、安全確認をしたつもりができていなかった場合などを指します。次に多いのが前方不注意で、考えごとをしながら運転したり、わき見をしてしまった場合などに当たります。3番目に多いのが操作不適で、アクセルとブレーキの踏み間違いなどが該当します。高齢者の事故の実例からは、「確認したつもりだった」「左右を見たつもりだった」など、意識と実際の行動が合っていないことなどにより事故が起こってしまう状況がうかがえます。



### ■自分の運転を一度振り返ってみた方がいいの？

高齢ドライバーの皆さんは、運転経歴が長く、近隣の道路事情にも精通する一方で、自分でも気付かないうちに、筋力や視力の低下のほか、認知判断力などさまざまな点で加齢による影響を受けています。そうした事情がいくつか重なった結果による運動能力の衰えが、事故の原因となっていることが考えられます。事故を防止するために自分の運転を一度振り返り、安全運転の基本動作ができているか意識することが大切です。

#### ↓ チェック ↓

- 通りなれた交差点で、急に飛び出てきた自転車や歩行者とぶつかりそうになったことがある
- 車線変更の際、安全運転を行ったつもりが、気が付けば前方に車が迫っていたことがある
- 右折時、対向車の陰から直進してきた二輪車に気付かず接触しそうになった、または、対向車との距離をつかんだつもりが予想と異なり、ヒヤリとしたことがある
- 急いでいる時など、アクセルとブレーキを思わず踏み間違えそうになったことがある

上の項目のいずれかに、1つでもチェックが付いた場合は、「意識と実際の行動ができていない」可能性があります。そのような方には、車を卒業し、らんらん号の利用を検討してみてはいかがでしょうか。